



山 懐

埼玉県立秩父高等学校PTA

秩父市上町2-23-45

教育講演会

第16回 後援会主催 教育講演会

演題 秩父のつながるステーション
ちちぶエフエム誕生

講師 ちちぶエフエム株式会社 取締役局



CONTENTS

- ◆ PTA支部別懇談会・全国高P連大会・
関東高P連大会・県高P連北部支部役員等研修会の各報告 2・3
- ◆ PTA研修旅行・後援会旅行 4
- ◆ 校長挨拶・学校説明会・保護者による学校説明会 5
- ◆ サマースクール・秩父サイエンスアカデミー・歴博訪問 6
- ◆ 2年生修学旅行 7・8
- ◆ いちよう祭 9～11
- ◆ 芸術鑑賞会・教育講演会・総合的な探究の時間 12
- ◆ 国際交流 13
- ◆ 保護者投稿欄「まなざし」 14
- ◆ 部活動結果報告（弓道部・陸上競技部） 15
- ◆ 写真ニュース・あとがき 16

91

令和元年12月24日発行

PTA「支部別懇談会」報告

PTA会長 河本 勝善

今年度も七月三日(水)～十六日(火)にかけて、十支部の支部別懇談会を開催させていただきました。開催にあたり各支部長をはじめ支部役員の皆様には、準備・設営等にご尽力いただきましたことに、対し御礼申し上げます。

学校からは、大学入試改革に伴う、思考力・判断力・表現力を養う授業の展開、アクティブラーニングによる生徒主体の授業の展開の取組について、家庭学習の習慣の定着のお願い等、学習面や生活、部活動の説明、ここ数年の進学、就職状況についても説明がありました。また、本年度は特に、人間性育成として、生徒の主体性の育成の取組の推進を図っていることが説明されました。

昨年同様に出席率の低下が目立ちました。支部別懇談会のあり方について今後の課題とし、学校側と協議して行きたいと思っております。

PTA役員一同、皆様からのご意見、ご要望を反映させるべく学校と協議を重ねて参ります。ご理解・ご協力をお願いいたします。

全国高P連

「京都大会」報告

PTA会長 河本 勝善

第六十九回全国高等学校PTA連合会大会京都大会が八月二十二日(木)～二十三日(金)の二日間、京都のロームシアター京都と道向いの建物みやこめつせ京都の二会場の七つのブースに分かれて全国から一万人近い参加者により開催されました。

本校からは、安藤敦頭先生と大橋朗秀副会長と私の三名にて参加しました。



「KYOTOから！未来を拓く」をメインテーマにし、開会式後六つの分科会に分かれ、各会場にて活発な意見交換がなされました。

二日目は一日目の分科会会場にてメイン会場からの映像配信で日本電産株式会社取締役会長 永守重信氏の記念講演が行われ、ユーモアと笑いを混ぜた貴重な講演でした。

関東高P連

「埼玉大会」報告

PTA会長 河本 勝善

第六十五回関東地区高等学校PTA連合会大会埼玉大会が、七月十二日(金)～十三日(土)に大宮ソニックスティにて開催されました。

本年は埼玉県が主催ということ、校長先生と私は実行委員、大会運営協力者として分科会のお手伝いを、北條由美子さん、森田真由さん、橋本真澄さん、小林真由美さんに協力をお願いしました。

一日目は、開会式と、浦和第一女子高校OBの向井亜紀さんが、「夢が生きる力になる」と題した記念講演がありました。

二日目は五つの分科会に分かれ、我々は第五分科会の運営にまわりました。安全教育とPTAと題した、学校が避難所になった場合を想定したゲームを通して問題点を出していくという発表がありました。



県高P連北部支部

役員等研修会報告

PTA副会長 大橋 朗秀

埼玉高P連北部支部役員等研修会が、十月二十七日(日)～二十八日(月)に、栃木県・那須にて開催され、二十三校、一三四名の参加があり、本校からは、南校長先生、河本会長と私の三名にて参加しました。

北部の各地区より四台のバスにて分乗し、途中PAにて休憩を挟んで各校別に乗換えし、車中にて各校のPTA活動の報告及び広報紙の説明をしました。それから大谷寺・大谷観音を拝観し、昼食後ホテルにて四専門委員会による四校のPTA活動の報告がありました。また、秩父四校の内秩父農工科学高校と小籠野高校の二校の発表がありました。二日目は、買い物と観光をし、二日間他校の先生方やPTAと飲食を共にし、親睦を深める有意義な研修旅行となりました。



PTA支部別懇談会 学校への主な質問・要望と回答

主な質問・要望	回答・要望
●受験・大学 ①2020年からの共通テストに関する活動記録への記載内容として、部活動のマネージャーという内容も有効なのか。 ②推薦入試に落ちた場合、同じ学校の一般入試が不利になるか。 ③公務員と大学の両方を希望している生徒はいるか。 ④2年生の1学期の時点で、具体的な進路目標を持っている生徒は多いか。	●受験・大学 ①活動の記録が有効となる入試形態は、総合型選抜（従来の入試入試）や学校推薦型選抜（従来の推薦入試）になる可能性があります。いずれにしても高校時代に取り組みたいことを記録しておくことは良いです。 ②不利になることはありません。 ③多くはあります。公務員試験と大学入試では勉強内容が異なる部分も多いので大変です。 ④多くはあります。
●学習 ①学校から紙の辞書を使うように言われているが、いつから電子辞書を使って良いのか。 ②夏休みなどの長期休業中は学習室や教室で勉強できるのか。 ③図書室や図書館へのWi-Fi導入の目的は何なのか。 ④宿題と部活動はどちらを優先すべきか。	●学習 ①特に制限はありませんが、総合的に力をつけるには、最初は紙の辞書を使った方が良いと始めています。 ②学習室の開放日は長期休業中に生徒に配布される資料に記載されています。教員は原則、利用できます。 ③スタディサプリが学校で利用しやすくなります。また、通信制課程を卒業することができ、生徒自身に判断させています。
●クラス編成 ①一般クラスから特進クラスに入ることは可能か。	●クラス編成 ①特進クラスに入るには、同内容の模試を受験することが条件で、その成績と実力テスト、学校の成績を総合的に判断して決めます。
●更衣・服装 ①ワイシャツの上にカーディザンを着ることは出来ないのか。 ②休日の部活動の登校は制服以外ではダメなのか。	●更衣・服装 ①カーディザンは学生服の中に着用することになっているので出来ません。 ②今年度から高校名が分れば、ジャージ・アジャックでも良いことになりました。
●修学旅行 ①修学旅行でタオルは必要か。 ②バグマ、寝具等は必要か。 ③修学旅行では、土曜日のパンフレット等はあるのか。 ④修学旅行では、スヌーズケースとバグマどちらが良いか。 ⑤修学旅行の行程（どこへいったとか）をメール配信できないか。	●修学旅行 ①巾着にアメニティはありますが、あまり期待せず、持っていく方が良いでしょう。 ②必要です。 ③9月に旅行会社の方から指差しして頂く予定です。 ④どちらでも大丈夫ですが、濡れても大丈夫なスヌーズケースの方が良いでしょう。 ⑤お車の車窓が写ったときは学校へ連絡しますので、学校へ連絡して下さい。また、同時多発ページを掲載してください。
●オープンキャンパス ①夏休み前のオープンキャンパスは専門学校、大学とどこもよいのか。 ②オープンキャンパス時の服装は制服か。	●オープンキャンパス ①1年生は3校（1校は大学）、2年生は1校（校種の指定なし）、オープンキャンパスに行くことになっています。また、1年生は埼玉県秩父地域無縁セミナーが主催する「高校生と保護者のための企業見学会」に参加した場合は「1校分」とします。 ③私服でも構いません。
●ボランティア ①ボランティアは、学校が紹介するものを利用した方が個人で見つけて参加するよりも良いのか。	●ボランティア ①学校から案内するものも、申込みは個人とするケースも多いです。個人で見つけて参加することも可能ですが、その場合は事前に名称等を学校へ伝えて欲しいです。いずれにしても積極的に参加することが望ましいです。また、ボランティア経験をスタディサプリ（ポートフォリオ欄）に記載しておくことも良いです。
●その他 ①土曜授業日にオープンキャンパスに参加した場合は欠席扱いにはならないのか。 ②大学に進学後、教員免許を取得しても教員にならないとしたら免許はどうなるのか。	●その他 ①原則として欠席扱いとなります。ただし、3年生でオープンキャンパスに参加することが入試の出願条件となっている場合には欠席扱いとします。 ②教員に採用されても10年ごとに教員免許更新をしなければならぬので、その制度に準じて更新する必要があります。更新しないと免許は無効となります。

支部別懇談会出席状況

番号	支部名	開催日	会場	1年	2年	3年	合計	出席率
1	荒川	7/5(金)	荒川農村環境改善センター	8(10)	5(5)	7(10)	20(25)	80.00%
2	小鹿野	7/6(土)	小鹿野文化センター	18(24)	15(26)	15(33)	48(82)	58.54%
3	秩父北部	7/9(火)	秩父高校図書館2F研修室	20(20)	18(23)	17(24)	55(67)	82.09%
4	横瀬・高橋	7/14(土)	横瀬町民会館大会議室	24(36)	24(35)	23(35)	71(106)	66.98%
5	影森	7/16(火)	影森公民館	13(22)	15(19)	9(16)	37(57)	64.91%
6	秩父第一	7/5(金)	秩父高校図書館2F研修室	12(20)	16(22)	8(19)	36(61)	59.02%
7	秩父第二	7/6(土)	秩父高校図書館2F研修室	15(25)	22(46)	15(27)	52(98)	53.06%
8	原谷	7/7(日)	原谷公民館	9(13)	7(13)	13(24)	29(50)	58.00%
9	皆野	7/8(月)	皆野町文化会館3F会議室	17(18)	13(19)	7(15)	37(52)	71.15%
10	長瀬・大里	7/3(水)	寄居町中央公民館	19(22)	20(23)	19(21)	58(66)	87.88%
計出席者				155	155	133	443	
在籍数				210	230	224	664	
出席率				73.81%	67.39%	59.38%	66.72%	

()は会員数

PTA研修旅行

研修指導委員長 小澤 恵美

今年度は、バス二台を連ねてのPTA研修旅行が、十一月九日(土)賑やかに、楽しく実施されました。昨年に続き、バスの運転手さんの過重労働軽減の為に、乗車場所の数を少なくしたり、幅りの時間も早めになったので、東洋大学、東京スカイツリー(ソラマチ)の二カ所になりました。

三芳パーキングで休憩をとり、東洋大学白山キャンパスへ向かいました。最初の目的地の東洋大学白山キャンパスでは、ビデオ視聴を含めた大学の説明や、白山キャンパスの特徴であるイブニングコースのお話などを聞くことができました。続いてのキャンパスツアーは、三班に分かれ、今回は三人の学生さんが順番に大学内を案内してくださっていました。

まず最初に案内された六号館に



は、教室をはじめ、各種店舗がそろった学食もあります。教務部や学生部や就職・キャリア支援部などでは、学生一人ひとりの相談に応じてくれるそうです。また、保健管理室には、医師や看護士がいて、救急措置や医療機関の紹介などもしてくれるそうです。次は二



号館、図書館には専門書や、幅広い分野の書籍があり、PC室もあって、とても広々としていました。最後は五号館、創立者の井上

や、井上円了記念博物館がありました。正門から続く階段を上った先には、井上円了像があり、木々と涼やかな水辺は、とても穏やかな気持ちになりました。井上円了像の前で記念写真を撮り、東洋大学を出発しました。

東京スカイツリーでは、展望デッキまで上り、景色とともに写真撮影したり、ガラス床の迫力ある景色も体験してきました。スカイツリー(ソラマチ)で昼食をとり、フロアガイド片手に観光をしたり、ショッピングをしている間に、帰



りの時間になりました。

天候に恵まれ、雨も降ることなく、楽しく無事に研修旅行を終える事ができました。保護者の方から、東洋大学で昼食を、という要望もありましたが、委員会ではソラマチと決定していましたので、残念に思われた方も多かったこととします。申し訳ありませんでした。参加していただいた皆様、先生方やPTAの皆様、委員の皆様、深く感謝申し上げます。

後援会旅行

富士山を満喫

後援会副会長 大嶋 洋一

九月十四日(土)・十五日(日)と二日のPTA・後援会そして同窓会の方々と、二年ぶりの宿泊をともなう県外研修旅行へ参加させていただきました。

天候にも恵まれて普段拝む事ができない富士山を眺めながら、楽しい時間を過ごすことができました。三嶋大社では重要文化財を拝み、沼津港の遊覧船から浮世絵に出てきそうな夏の富士を満喫。中伊豆の大仁ホテルからの赤富士は最高。これからも秩父高校のために頑張ろうと参加者の心が一つになった旅行でした。



ちちぶ定住自立圏

校長 南 清孝

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に対してご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

秋は、「文化の秋」という言葉もあるように、学校でも大きな文化的な行事を実施しました。八月三十一日の「第五十六回いちよう祭」、九月二十九日から三泊四日で行った「北海道修学旅行」、十月三十日に全校で東京まで出向いた「劇団四季」での芸術鑑賞会、どれも五感をフルに活用した貴重な学ぶ体験となりました。

修学旅行三日目の洞爺湖遊覧の際、地元「虻田(あぶた)高校」の三年生十四名が本校生徒に洞爺湖周遊観光ガイドをしてくれました。事務情報科の虻田高校は各学年一クラス、全校三クラスの約百二十名です。同年代の高校生が学びの成果を披露する姿に接することができ、本校生徒にとっても大いに学びとなったと思います。

さて、秩父郡市の一市四町では、「ちちぶ定住自立圏推進委員会」を設置し、安心して住み続けられる街づくりを推進しています。この四月から秩父の四高校も参加し、行政と一体となり「高校魅力化プ

ロジェクト」に着手しました。現在、高校魅力化に実績のあるコンサルティング会社「マニエロ Maniero(プリマベンギノ)」が、行政や高校にヒアリングを行い、魅力化の方策を検討しているところですが、これにより、「普通科の秩父高校」、「専門学科の秩父農工科学高校」、「商業科の皆野高校」、「総合学科の小鹿野高校」の魅力により磨きをかけて、時代の変化に対応できる高校を創り上げることが目標です。

本校は秩父地域の活力ある進学校として、本年度導入の隔週土曜授業をはじめ、これまで様々な施策を実施して参りました。現在は、二〇二二年度入学生の「新教育課程編成」や「総合的な探究の時間」への対応を進めています。二〇二〇年度から始まる新しい大学入試、二〇二二年度から新学習指導要領施行への対応についても、生徒一人ひとりの高い志の実現に向けて、学校全体で取り組んでいるところです。

本校生徒は、素直で可能性を秘めた生徒ばかりです。「瑠璃の光も磨きながら」、生徒たちを十分に伸ばすことのできる高校であり続けたと考えております。

今後とも、保護者様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校説明会

教務主任 澤田 行弘

教務部では他分掌の職員とも協力して生徒募集を行ってきました。夏季休業中の学校説明会には、延べ五二〇名を超える中学生とその保護者の方に参加していただきました。また部活動体験入部にも一・二・三名の中学生が参加し本校生徒との楽しい時間を過ごしていました。「保護者による保護者のための説明会」、体験授業・高校入試対策説明会などのプログラムを実施し、全体説明では在校生にスピーチや司会をお願いしました。本校生徒の良さや高校生活の過ごし方などを十分に理解していただけたと考えています。今後予定されている個別相談会でも丁寧な説明を心がけたいと思います。

今まで以上にPTAをはじめとする地域の皆様と学校とが緊密に連携を取り合い、今後の生徒募集に臨んでいくことが不可欠と考えています。本校の良さが地域の方々に、より一層広く浸透するよう更なるご支援をよろしくお願いいたします。

保護者による
保護者のための説明会

PTA会長 河本 勝善

例年夏休みの八月第一日曜日に開催される学校説明会に併せて、PTA主催による、中学生保護者を対象とした「保護者による保護者のための説明会」を本年は、八月四日(日)と五日(月)の二日間開催しました。

当日は、PTA・後援会役員の方々を三つのブースに分けて個別相談を受けました。二日間を通して、合計十名の参加があり、保護者同士が知り合いということでの集団での相談が行なわれました。型に捉われない和やかな雰囲気の中、授業内容、クラス編成や進路部活動、通学手段、学食や購買など、たくさん質問がありました。受験生を抱え不安な気持ちを持つ保護者の方と同じ立場を経験したからこそできる話や、大学等の進学が就職への選択を迎えた時、先生方との連携など他校には無い秩父高校の良さについてもお話させていただきました。一人でも多くの受験生・保護者に検討してもらうことがこの会の開催の意義と考えております。

サマースクール

進路指導部 浅見 宏子

本年度のサマースクールは、三年生ともに七月二十二日から二十六日までの五日間で行われました。サマースクールは普段の授業とは異なり、受験に向けて問題演習等を行う進学補習です。実施科目は英語・数学・国語の三教科に加え、二年生の文系クラスは日本史の選択も可能です。一教科は五十分×二コマで、一日六時間の学習時間となります。

サマースクール後のアンケートでは、学習時間がやや長いという意見もありましたが、多くの生徒が集中して勉強に取り組めたこと回答していました。



秩父サイエンスアカデミー

教諭 新井 泰葉

「秩父サイエンスアカデミー」は、秩父地域の小学五・六年生に科学に対する興味関心を持つてもらうための企画です。本校を会場として、日本薬科大学の野澤教授(本校元校長)や地元NPOの方々を講師として迎え、アシスタントとして本校の生徒も参加しました。

本年度は、八月九日金に開催され、『森のはたらきと酸性雨』をテーマに、地球環境問題について考えました。一時間目は、森林の現状や積極的に売り出し中のメーブルシロップなど「秩父の森」について講義形式で学び、二時間目

に「酸性雨」

について講

義と実験を

通して学ぶ

ことができました。

学校ではでき

ない実験が

新鮮だった

様子で、小



まで集中して取り組んでいました。

普段教わる側の本校生徒が教える側になり、一人で複数の小学生に実験の手順をしつかり説明できている姿に感心しました。相手にわかりやすく伝えるため、自分なりに噛み砕いて説明し、ケガがないようにサポートしていた一人一人の気遣いが印象的でした。

歴博訪問

三年三組 森田 圭達

私は八月二日金に行われた歴博訪問に参加しました。電車で往復七時間程掛けて千葉県佐倉市にある国立歴史民俗博物館に行ってきました。青先生、近藤先生、野坂先生、三年生二名、二年生四名、今年度教育実習生の青藤先生の計十名で行ってきました。

国立歴史民俗博物館には六つの展示室があり、先史・古代から現代にかけての日本史の教科書にも載っているような史料がそれぞれ展示してあります。私たちは今年リニエールオーブンされた先史・古代の展示物のある第一展示室を主に見学しました。そこでは先生が作ったプリントに気

になったことを調べて書いたり、説明を聞いたたり、質問をしたりしました。他の展示室ではアイヌのことを音楽ガイドで聞いたたりして理解を深めました。

私は国立歴史民俗博物館に行つて歴史をもっと知りたいという思いがより一層深まりました。もし少しでも歴史に興味のある人は、ぜひ二度訪れて欲しいと思います。



修学旅行

北海道方面

9月29日(日)～
10月2日(水)

第一日目

三年三組 八木 政樹

人生初の飛行機から北海道に足を踏み入れた瞬間、小雨が降っていたせいもあり、少し肌寒さを感じました。

最初の目的地である、サッポロピリカコタンへバスで移動している間には、すでに雨も上がり、雲の切れ間から青空が見えました。サッポロピリカコタンでは、北海道の先住民族であるアイヌ民族について講話を聞いたり、博物館の展示を見て、アイヌの文化や生活歴史について深く学ぶことができました。

次に行った、クラーク博士の全身像で有名な羊ヶ丘展望台では、羊を見ながらのんびりと雄大な景色を楽しむことができました。

最後の目的地であるサッポロピール園では、ジンギスカンを食べましたが、とてもおいしかったです。はじめての体験ばかりで、あっという間の一日目でした。

第二日目

二年五組 根岸 莉菜

二日目は、札幌・小樽で班別行動をしました。

私達の班は、最初に円山動物園に行きました。普段見ることでできない動物がたくさんいて、とても迫力がありました。動物とふれあうこともでき良い思い出になりました。



次に海鮮バイキングに行きました。北海道でとれる新鮮な力ネやホタテ、その他にも、お肉、デザートなど多くの種類があり、班で楽しみながら食べることができ、満喫することができました。

その後は、六花亭に行き、お土産を買ったりしました。

北海道の町並みを見ながら、班で一日を楽しく過ごすことができました。充実した班別行動になりました。

第三日目

三年六組 杉田 琉雅

修学旅行三日目、私たちはコースごとの体験でキャラメル作り体験を選択しました。

体験の内容は、まず最初は茶碗の絵付けでした。私は北海道ならではの「熊出沒注意」の看板の絵を書きました。他の人も色々なオシャレな絵を描いていました。

次に、生キャラメルとアイスを作りました。和気あいあいとしたの班も作っていて、出来上がったものもとても甘く、上手に出来たので良かったです。

午後は、函館山の夜景を見に行きました。しかし函館までの道のりは遠く、バスで五時間近くかかり、腰が痛くなりました。

その苦労もあってか、函館山の夜景は本当に綺麗でした。夕方に現地に着き、一つ、また一つと灯りが付いていく様はとても幻想的で、まさに世界三大夜景と呼ばれるにふさわしいものでした。朝から晩まで

楽しめて良かったです。



第四日目

二年四組 近藤 亜美
新井 彩音

最終日の班別行動で私たちの班は五稜郭へ行きました。五稜郭へは路面電車を使って向かいました。北海道の町並みをのんびりと見学できたのでとても良い思い出になりました。



五稜郭は北海道でも有名な観光地で観光客の方もたくさんいました。五稜郭公園はとても広く、綺麗な公園でした。公園内には箱館奉行所もあり、歴史を感じることができました。

帰りの新幹線は約五時間という長い時間で少し疲れましたが、全員で無事に帰ることができて良かったです。今回の修学旅行では北海道の文化や町並み、自然に触れ充実した四日間を過ごすことができました。また、集団行動、集団生活を通じ、相互の協力性やルール遵守など様々な事を学ぶことができました。今回修学旅行で学んだたくさんさんの事を活かし、充実した学校生活を送っていきたいと思っています。



修学旅行





いちよう祭





「いちよう祭」

を終えて

文化祭実行委員長
3年2組
堀口晴生

当日は天候が心配されましたが、無事第五十六回「いちよう祭」を開催することができました。それも、お力添えいただきました先生方、保護者・同窓会・後援会・地域の皆様のおかげです。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今年度は、令和初の文化祭となり、例年より来場者数が増え、全体的に和気あいあいと盛り上がりつつある姿が見られました。また、体育祭実行委員長の岩田さんが言っていたように今回の文化祭で学年だけでなく、学校中がアロナルファのように隔くくつついたと思います。

色々な取り組みがあるなか支えてくださった先生方、実行委員や生徒会の皆さんには感謝しかありません。

最後になりますが、ご来場いただいた皆様、ご協力くださった皆様、ありがとうございます。

いちよう賞

グランプリ

3年7組



美少女戦士セーラームーン
〜青とゆかいな仲間たち〜
The Final
三年七組 新井正矩

私達は劇「美少女戦士セーラームーン〜青とゆかいな仲間たち〜The Final」を上演しました。

三年間続けてきた劇の集大成として、全員が一人となり取り組むことができました。今年受験の年でもあったので、勉強との兼ね合いも考えながら準備をしていかななくてはなりませんでした。そのため、台本は一学期中に完成させ、夏休み中は三日間しか練習を行いませんでした。そのような厳しいスケジュールの中でも、全員がそれぞれの仕事を完璧にこなしてくれました。

公演は毎回入りきれないほどのお客さんにお越しいただきました。度々ハブニングもありました。協力して乗り越え、いちよう賞グランプリという最高の結果で高校最後の文化祭を終えることができました。これも全て、役者、大道具、小道具としてがんばってくれた皆、先生方、そしてお越しいただいた皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

Twinkle star Parade

三年五組 蘭田さくら

私達三年五組は、コーヒータップを行いました。先輩方が考えた設計図を元に夏休み前から準備を進めていきました。初めは完成するが不安でいっぱいでしたが、団結力の良きでとてもクオリティの高いものが完成しました。

まず最初は設計図の確認、役割分担、必要な材料の買い出しから始めました。徐々に自分達の仕事に慣れ、スムーズに作業できるようになりました。上手く事が進まない時もありましたが、無事に完成することができました。

当日は、各自の仕事をしっかりとこなし、周りからの評判も良く、とてもにぎやかで、多くのお客様に楽しんでいただくことができました。お客様の笑顔や感想を聞いて、私達はとても素晴らしいものを作りあげたのだと実感しました。途中でトラブルが起きましたが、最後まで事故なくやり遂げることができました。私達は文化祭を通して挑戦することの大切さを知ることができました。材料の寄付や、お手伝いいただいた皆様、ご協力心より感謝申し上げます。

《第56回いちよう祭 いちよう賞受賞団体・個人》

☆いちよう賞

- ・いちよう賞(グランプリ) 3年7組
- ・第2位 3年5組
- ・第3位 3年3組・2年6組

☆文化いちよう賞

- ・コンサート・発表部門 吹奏楽部
- ・展示部門 家庭科部
- ・ウェルカムボード賞 2年6組

☆文化奨励賞

- ・ポスター制作者 高橋由衣(1年7組)
- ・パンフレット表紙制作者 兼平美優(2年2組)
- ・パンフレット裏表紙制作者 扇原里佳(2年3組)
- ・キャッチフレーズ 小池瑞希・関野優聖(3年3組)
- ・特別賞 図書委員会

いちよう賞

第2位

3年5組

2年6組
トランプカジノ

第3位

3年3組
お化け屋敷「アカガタリナイ」

バザー御礼

PTA副会長 須賀洋子

第五十六回「いちよう祭」二日目一般公開日の八月三十一日中にPTAバザーを開催させていただきました。

前日の値付けから当日の販売まで、役員の方々にはお手伝いいただき盛況のうちに終了することができました。

保護者の皆様はじめ、後援会役員の皆様そして先生方には多くの品物を拠出いただきましてありがとうございました。

収益金につきましては、子ども達の語学研修時の補助金として使わせていただき、国際交流事業へ有効活用させていただきます。

来場しお買い上げいただきました皆様、先生方、保護者の皆様にバザーのご協力・ご理解に感謝申し上げます。報告とさせていただきます。



バザー収益金
109,000円

ご協力ありがとうございました。

芸術鑑賞会

教諭 山岸 実桜

十月三十日(水)東京・大井町にある四季劇場「夏」にて、劇団四季によるミュージカル『ライオンキング』を観賞しました。今回は、「本物の、最高の舞台芸術に触れる」ことを目的とし、本校で初の試みとなる秩父地域外での鑑賞会となりました。

ミュージカル『ライオンキング』は、ディズニーのアニメーション映画をもとにつくられました。一九九八年十二月に日本で上演されてから今日まで公演が続いており、多くの人々に愛される作品です。アフリカの音楽、インドネシアの影絵技法、日本の文楽など、世界各地の表現方法を巧みに取り入れ、見る人の心をさまざまな角度から掴む工夫がなされています。幕が上がると、目の前に広がる景色は、巨大な舞台装置や精巧な作りの小道具などではなく、サバンナの大自然そのものでした。生徒達をはじめ会場にいた全員が一瞬にしてその世界に引き込まれていくのを肌で感じました。

いつの時代も、人々は芸術と共に生きてきました。今回の鑑賞会が生徒の心を育み、今後の人生への糧となることを願っています。

秩父のつながるステーション
ちちぶエフエム誕生

教諭 野坂 典広

十一月十五日(金)、本校図書館研修室にて第十六回後援会主催の教育講演会が実施されました。今回は今年十月に開局した、ちちぶエフエムの山中優子局長を講師にお招きし、「秩父のつながるステーション ちちぶエフエム誕生」というテーマで講演をしていただきました。



ちちぶエフエムは一九八五年生まれの秩父出身の女性三人で立ち上げた会社です。前述の山中氏と取締役の出浦ゆみ氏は本校の卒業生でもあります。79・0歳で毎日生放送で秩父密着の情報を届けるコミュニティラジオ局です。

講演では、地元秩父への思いや開局までの苦労話など様々なお話をしていただきました。また講演の途中には、スタジオにいる出浦氏との間で生中継のリポートが行われるなど地元密着ラジオならではのサプライズもありました。

地元に戻り、地域に貢献する卒業生の活躍を知ることができ、大変有意義な講演会となりました。

総合的な探究の時間

教諭 大林 幸平

九月中旬から十月初旬にかけて三回ほど、一年六組の生徒が秩父市役所の職員の皆様と一緒に、「秩父高校を秩父地域で一番の観光地にする」というテーマのもと、プレゼンテーションを行いました。これは、新学習指導要領における、「総合的な探究の時間」(旧「総合的な学習の時間」)で次年度から導入予定のカリキュラムを試行的に一年六組で行ってみたものです。生徒はグループに分かれ、アイデアを出し、効果や問題点を検討しながら、発表に向けて準備をしてきました。アイデアの



中には「SNSを通じてよりPRを行う」や「ストリートピアノを設置し、音に合わせて反応が返るイルミネーションを取り付け、SNS映えを狙う」などといった、現代の高校生ならではのアイデアも出てきました。

今回の活動の目的は「グループ内での協働」「伝える(発信する)」ことの難しさを学ぶ」点にあります。どれもこれからの変化に富む社会で活躍するために重要になってくるスキルです。今後こういった活動は増えていくことと思います。今回の活動を通して学んだ事を、今後の活動にも活かしていくて欲しいと思います。

語学研修引率

教諭 新井 義弘



七月二十五日から八月四日までの十一日間、オーストラリアのロビーナ高校で短期語学研修を行わせていただきました。今年度は一年生六名、二年生五名が参加し、引率を私と大林幸平教諭の二名で行いました。ロビーナ高校には日本語専攻があり、日本語を学んだり、茶道や書道、アニメなどの日本文化を学んだりしている生徒がいます。中には、日本語を流暢に話す生徒もいました。そのような環境の中で語学留学ができる本制度は、とても貴重であると感じました。

じました。

十一日間という期間で、学校生活を送ったり、動物園・遊園地に行ったり、ホームステイをしたりと様々な体験をすることができました。研修に参加した生徒は、最初こそ緊張した様子であったものの、目を重ねるごとに英会話に慣れ、積極的にコミュニケーションをとっていました。秩高生のポテンシャルの高さを垣間見ることができました。また、本研修ではオーストラリアの文化に触れることで、広い知識と視野を育むと同時に、日本の良さを再確認することもできました。これらの経験を糧に、今後の人生がより一層豊かになることを切に願っております。



語学研修を振り返って

三年六組 町田 昂野

私は今年の夏にオーストラリアへの語学研修に参加させていただきました。秩父高校と姉妹校である、ロビーナ高校の生徒の家にホームステイさせてもらいながら、学校に通うという、オーストラリアにどっぷり浸がった十一日間でした。

「語学研修」というと、お固い勉強ばかりやらされるイメージを持たれるかもしれませんが、ホームステイ先の家族と遊んだり、ご飯を食べたり、オーストラリアの街を観光したりといった、楽しい時間の方が遥かに長かったです。もちろんオーストラリアの歴史や文化、生態系などの勉強もありましたが、とても興味深く、めになる内容ばかりでした。



海外のイメージ通りのロビーナ高校の自由な雰囲気やホームステイ先の家族の温もりを感じられた事は私にとってとても大きな財産となりました。この経験を生かし、これから頑張っていきたいと思います。

語学研修を振り返って

三年七組 笠原 侑希奈

出発するまでは長いと思っていた十一日間のオーストラリアでの語学研修は、始まってみるととても短いものでした。

ホームステイ先での生活は毎日楽しくて、あっという間に過ぎてしまいました。会ったその日の夜ご飯はパディがラーメンを作ってくれたり、休日にはホストファミリー、ホストマザーが海やショッピングに連れて行ってくれました。最後の日の夜にみんながサプライズをしてくれたことは本当に感じかったです。

今回研修に参加して、私は実際に体験することの大切さを学びました。授業で学習した英語も、いざ使おうとすると言葉が詰まってしまい、上手に話すことができませんでしたが、現地の雰囲気も画面で見るとは全く違い、全てが新鮮で感動しました。



この感動を忘れず、今後の生活に研修での経験を役立てたいです。

まなざし

感謝



原谷支部長
原 由美子

息子が入学し、早いもので一年半が過ぎました。新しい環境に慣れるのに時間がかかる性格の息子。心配でしたが、充実した高校生活を送れているようで安心します。

九月には北海道へ修学旅行に行き、貴重な体験をし、楽しく過ごせたようで、色々な思い出を聞かせてくれました。これも良い先生や、友人達に恵まれたおかげと感謝しています。

これから残りの高校生活は、自分の将来について考え、自分の進路を決める大切な時間となります。悩み、嫌になる事も多いと思いますが、息子が自分にとって、最善の選択ができるよう見守っていただけらと思っています。

原谷支部長としての活動も、副支部長をはじめ、役員の方々の協力のおかげで無事に支部懇談会を終える事ができました。ありがとうございました。残りの活動も、生徒の皆さんが充実した高校生活を送れるよう、PTA活動を通して協力していきたいと思っています。

高校生活を大切に



皆野支部長
片岡 秀美

今年度、皆野支部長を務めさせていたたいしております。支部総会懇談会では、前支部長さんや支部役員の方々に協力いただき、多くの保護者の方の参加もあり、無事終えることができました。ありがとうございました。

PTA活動に参加することで、先生方や他の支部の方々との繋がりができ、学校の様子など改めて知ることができました。初めは大役に不安を感じておりましたが、今ではPTA活動に参加することの良い経験ができ、良かったと思っています。

子どもが高校生となり、早いもので一年半が経過しました。高校三年間はあつという間です。勉強も大切だと思いますが、部活動や学校行事、友人との時間も大切に、充実した学校生活を送ってください。この先、進路など様々なことで悩むこともあると思います。将来に向けて何事も悔いのないように取り組んで欲しいと思います。

支部長になり



長瀬・大里支部長
阿部 紀子

今年度支部長になり、不安の中PTA活動や役員会に参加させていたいただきました。

七月の支部別懇談会では、保護者の方の出席率が約90%と多くの方々に参加していただき、本当にありがとうございました。副支部長をはじめ、支部役員の方々の協力のおかげで無事に終える事ができました。私自身、司会進行や挨拶が上手にできず、反省する点が多かったです。

そんな親とは反対に息子は、夏休みの友達との旅行や部活の合宿、文化祭、九月の修学旅行と忙しく充実した日々、まだまだ受験は来年とのんびりしています。残りの高校生活はあつという間です。部活や友人との時間を大切にしながら、将来に向けて勉強も頑張ってもらいたいものです。

残りの任期は、来年度の支部長になる方の上にバトンタッチできよう、頑張ります。

部活動結果報告

弓道部

紫羅旗全国高校

遠的弓道大会に出場して

三年五組 新井香葉

我々秩高弓道部は、日々己の精神面と射型を磨き、「正射必中」を胸に練習をしています。引退前、私は部員三十五名をまとめる部長をしており、六月三十日に行われた紫羅旗全国高校遠的弓道大会の県予選に出場しました。

大会には、女子チーム大前・新井香葉、中・西田安里、落・島寄江莉紗、リザーブ・根岸莉菜、男子チーム大前・新井陸斗、中・入澤友飛、落・栗原康介、リザーブ・萩原健太で出場しました。普段私達が部活で練習している近似的なまでの距離が二十八メートルなのに対して、遠的は的までの距離が六十メートルなので、弓道場では練習ができず他の部活が校庭を使わない早朝に場所を借りて行う必要があったため、満足に練習が出来ないまま試合に臨みました。しかしそんな中でも女子チームが秩高を含め三校で同率一位となり、順位決めの競射の末に三位



入賞を果たし、全国大会に出場をする資格を得ることができました。後日行われた全国大会出場メンバーと団体チームによる練習試合で、決勝まで進むことができたこともあり、私達の全国大会へ向けた自信と気持ちは十分でした。

紫羅旗全国高校遠的弓道大会は八月十八日に福岡県久留米市で行われたのですが、その前日の十六、十七日に練習会があったため、私達は十六日の朝、飛行機で久留米市に向かい二日間練習会に参加しました。そして本番、十八日の試合は大前・新井香葉、中・根岸莉菜、落・島寄江莉紗、リザーブ・西田安里で出場しました。私はチーム唯一の三年生でこの試合が引退試

陸上競技部

関東大会出場

三年五組 浅見梨花

長いようで短い高校生活の部活動の中で、学んだことがたくさんあります。

私は中学校の時に専門だったハードルを続けてくると二年生の夏から四〇〇mハードルに挑戦しました。怪我で思い悩み大変な時期もありましたが、諦めず努力し続けて、最後の学総体の県大会で自己ベストを出し、念願である北関東大会出場を決めることで出来ました。共に頑張ってきた支えてくれた仲間や顧問の先生の笑顔を見られた時はいい結果が出て良かったと感じ、気持ちでいっぱいでした。夢で

でまだ弱い部分があります。的に因われ自分に甘くなったり、その場の雰囲気や飲まれいづも通りの射ができないなどと言っていたら、県内ですら勝っていません。全国大会に出場できた経験を生かし後輩達にはさらなる高みを目指し、私達先輩を超えていく姿を見せてほしいです。是非成長した姿を見せてほしいです。

あったインターハイには届かず悔しい思いをしましたが、最後まで応援してくださいました方のおかげで楽しく走りきることができました。

約三年間やってきた部活動は、先生や仲間、たくさんの人と関わって、真剣になれ、楽しく充実した部活動になりました。部活動で培った諦めず努力する力を将来に役立てたいと思います。



ハイキング部



登山合宿 6名参加
初秋合宿 5名参加

女子ソフトテニス部



新人大会北部支部予選会
個人ベスト32(県大会出場)
戸田陽菜(2-7)・新井双葉(2-5)
団体ベスト8(県大会出場)

弓道部



全国高等学校遠的弓道大会出場

新井香葉(3-5)・西田安里(2-3)・
島崎江莉紗(2-3)・根岸莉菜(2-5)
関東個人選抜大会県予選
女子7位(関東大会出場) 根岸莉菜(2-5)
男子8位(関東大会出場) 風原康介(2-4)
全国高等学校弓道選抜大会県予選
男子団体ベスト16 家内武蔵(2-6)・茂木凜人(2-1)・
島崎春弘(1-4)・萩原健太(2-5)

写真ニュース

文芸・図書部



第18回埼玉県高校生文芸コンクール
佳作 内田真菜(2-2)

科学部



科学の甲子園(埼玉県予選)参加

陸上競技部



国体地区予選会
女子三段跳 優勝 高田彩香(3-3)
女子400mH 優勝 浅見梨花(3-5)
その他4種目入賞
女子総合の部 8位入賞
新人地区大会
女子やり投 3位入賞 新井七奈(2-3)
女子三段跳 7位入賞 新井七奈(2-3)
その他個人種目にて延べ3種目出場

柔道部



秋季北部支部高校柔道大会
女子個人48kg級 1位 緒迫悠希(1-6)
57kg級 1位 新井七奈(2-2)
男子個人50kg級 5位 大久保天晴(1-1)

野球部



北部地区新人大会 1回戦 秋父4対7本庄東
秋季県大会北部地区予選
1回戦 秋父7対3本庄一
2回戦 秋父0対7本庄東

サッカー部

U16北部2部リーグ 2位
(1部入れ替え戦出場権獲得)
北部秋季大会 Bブロック2位

箏曲部 高校邦楽部 朗奏

男子バスケットボール部

新人大会北部支部予選
1回戦 秋父99対46 熊谷南葉
2回戦 秋父58対73 熊谷

女子バスケットボール部



新人大会北部支部予選
1回戦 秋父65対37 本庄
2回戦 秋父74対76 熊女

吹奏楽部



アンサンブルコンテスト埼玉県予選
クラリネット四重奏 金賞(県大会進出)
サクソフオーン四重奏 最優秀1位
国神小学校 出張演奏

あじか

新元号「令和」が始まり、ラグビーワールドカップが日本で開催され、大変な盛り上がりを見せた。今年も残りわずかとなりました。台風被害は私たちの身近に迫り、自然の驚異も目の当たりにした。一年だったと思います。ライフラインを含め、当たり前の有難さを知ることができたのではないのでしょうか。想像力を働かせ、世代や人種を超えた多種多様な関係の中でのコミュニケーションを通じて、心豊かに生きることがますます大切になる時代を迎えています。脈々と受け継がれる伝統と文化が感じられる秋の地で、出会えた仲間は一生涯の友となることでしょう。

また、三年生にとっては、進路を決定する大切な時期を迎えています。学力はもちろん、部活動や諸行事を通じて得た力を十分に発揮し、ワクワクする好奇心いっぱいの将来を、笑顔咲く春を迎えられること願っています。

最後になりましたが、皆様のご協力のもと、山懐九十一号を無事発行することができました。保護者、先生、地域の皆様を支えられ、この学び舎で過ごす秋高生の未来とともに、雨後の虹の様な希望があふれる来年であることを祈りつつ、心からの感謝をお伝えします。一年間ご協力ありがとうございました。(広報委員会)